

〇私立高校の出願の手続きについて

最近めっきりと寒くなってきましたが、みなさん体調はどうですか？ 体調を整えることもみなさんの進路を決める上でとても大切なことです。しっかりと休息を取り、体調を整え、時間を有効に使いながら学習に励んでほしいと思います。

さて、今週から2学期末の三者懇談が始まります。この懇談ではみなさんの進路を決定していくことになります。「進学」するのか「就職」するのか、進学する場合はどの高校に進学を希望するのか、入試日程を考えながら決めていかなければなりません。特に私立高校を受験する場合、出願が1月から始まりますので、その準備もしていかなければなりません。そこで今回の進路通信では、「私立高校の出願の手続き」について、確認をしておきたいと思います。一般的な出願の流れ(準備)は以下のようになりますが、各高校によって異なる場合もありますので、必ず各高校の募集要項(冊子またはホームページ)を確認するようにしてください。特に近年、インターネットによる出願(web出願)を取り入れる高校が増えてきていますので、手続きをしっかりと確認しておくようにしてください。



1. 受験する高校の募集要項を確認する

「募集要項」には、出願の期日や出願に必要な書類など、手続きに関する内容が書かれています。しっかりと募集要項に目を通すことで、出願の流れがつかめますので、まずは募集要項を取り寄せてください。各高校のホームページに掲載されている場合もありますし、パンフレットと一緒に配られている高校もあります。

2. 必要な書類を準備する

高校によって少し異なりますが、出願に必要な書類としては、「入学志願書(受験票を含む)」、「個人調査書」、「受験料の振り込み用紙」、「写真」、「返信用封筒」などがあります。従来の紙による願書の場合、これら出願書類一式を各高校に取りに行かなければなりません。まだ準備できていない場合、遅くとも12月中には取りに行きましょう。web出願の場合は、これらの書類をインターネット上で作成できます。ギリギリに準備すると間違いがあったときに慌てることとなりますので、早め早めに余裕を持って準備しておきましょう。

- ・入学志願書(願書)…受験生本人が自書する(自分で書く)ことが基本です。
名前や住所、志願する学科やコースなど、受験に必要な情報を記入します。印鑑が必要な場合もありますので、まずは鉛筆で下書きをし、中学校の先生に確認してもらってから清書します。web出願の場合も、登録内容を確認してもらってから受験料の振り込みをしていきます。
- ・個人報告書…中学校で作成します。
受験生の成績(評定)や学校生活の様子などを書く書類です。中学校で作成します。
- ・受験料の振り込み…各家庭でお願いします。
紙願書の出願の場合、振込票の控えを願書に貼り付けて出願するのがほとんどです。出願前に振込をお願いします。web出願の場合、クレジットカードやコンビニでの支払いがほとんどです。支払いが済むと次の画面(受験票の印刷画面)に進むことができますようになります。
- ・写真…必要な枚数を中学校に報告してください。
高校によって必要な写真の枚数が異なりますので、募集要項等で確認して必要な枚数を中学校まで報告してください。中学校で準備します。
- ・返信用封筒…受験票や合否の結果を郵送するために必要になります。
紙願書の出願の場合、出願書類一式の中に封筒が入っている場合も多いので、封筒に必要事項を記入します。切手が必要な場合もありますので、募集要項を確認してください。web出願の場合、合格発表もweb上で発表される場合も多いので、封筒がない場合もあります。

3. 書類ができたなら中学校で確認する

紙願書の下書きやweb出願の登録が終われば、できた書類を一度中学校に持ってきてください。中学校で確認をしてから清書(web出願の場合は受験票の発行)をします。

4. 受験する高校に郵送する(または持参する)

作成した入学志願書などを受験する高校に提出します。新型コロナウイルスの感染拡大のこともありますので、原則郵送での出願となります。所定の封筒に必要な書類を入れ、郵便局から郵送してください。このとき、「簡易書留」等、郵送方法が指定されている場合もありますので注意してください。

大まかな流れは上記のようになりますが、余裕を持って準備できるよう、中学校では早めに期限を設けて確認していきますので、期限までに書類等の準備をお願いします。具体的な日程については三者懇談でお伝えします。